

## 土木学会 原子力土木委員会

### 平成 29 年度 第 1 回 地盤安定解析高度化小委員会 議事録

1. 日時：平成 29 年 9 月 15 日（金）15:00～17:00

2. 場所：土木学会 AB 会議室

3. 出席者（順不同）

京谷委員長（東北大学）、吉田副委員長（東京都市大学）、河井委員（東北大学）、松島委員（筑波大学）、谷委員（東京海洋大学）、泉委員（北海道電力）、大熊委員（九州電力）、工藤委員（日本原燃）、小川委員（四国電力）、岸田委員（京都大学）、篠田委員（防衛大学校）、中村委員（電源開発）、樋口委員（大林組）、宮岸委員（北陸電力）、渡辺委員（大成建設）、小早川幹事長（電力中央研究所）、両角幹事（関西電力）、石丸幹事（電力中央研究所）、及川幹事（東京電力ホールディングス）、澤田幹事（電力中央研究所）、橋幹事（中部電力）、関口幹事（電力中央研究所）、中瀬幹事（東電設計）、小澤幹事（関西電力）、西村幹事（ニュージェック）、吉田幹事（電力中央研究所）、辦野オブザーバ（東北電力）、中島オブザーバ（関西電力）、増田オブザーバ（日本原子力発電）

4. 資料

H29-1-0 議事次第

H29-1-1 地盤安定解析高度化小委員会 委員名簿

H29-1-2 前回議事録

H29-1-3 平成 29 年度 WG1 活動状況

H29-1-4 WG2（斜面崩落評価 WG）活動状況報告

H29-1-5 地盤安定解析高度化小委員会 断層変位評価 WG 平成 29 年度活動状況報告

H29-1-6 地盤安定解析高度化小委員会 シンポジウムの計画

H29-1-7 地震動による斜面崩壊に起因する確率論的リスク評価

H29-1-8 SMiRT24 特別セッション実施報告"Risk analysis of NPP against seismic induced non-vibration hazard"

## 5. 議事

### (1) H29-1-2「前回議事録（案）」の確認

- ・ 前回の議事録（案）は、承認された。

### (2) H29-1-3「平成 29 年度 WG1 活動状況」に基づき、橋幹事から説明があった。主な質疑応答を以下に示す。

- Q. P18 の報告書は、シンポジウムの発表内容の前提となる考え方がまとめてあるという位置付けか？
- A. その通りである。
- Q. WG1 で懸念事項はあるか？
- A. WG2 との連携部分が難しいかもしれない。
- C. WG1 から 2 ケース分のデータを渡しているが、時間的に難しいかもしれない。

### (3) H29-1-4「WG2（斜面崩落評価 WG）活動状況報告」に基づき、中瀬幹事から説明があった。主な質疑応答を以下に示す。

- Q. "不連続体解析を用いた斜面安定性評価について"は実施予定か？
- A. 実施予定である。
- Q. いくらいまでにやるのか？
- A. 年度内に実施予定である。
- Q. "不連続体解析を用いた斜面安定性評価について"の主担当は誰になるのか？
- A. 斜面の確率論的評価手法の件もあるので、吉田副委員長、中島委員と相談して決定したい。

### (4) H29-1-5「地盤安定解析高度化小委員会 断層変位評価 WG 平成 29 年度活動状況報告」に基づき、澤田幹事から説明があった。特に質疑はなかった。

### (5) H29-1-6「地盤安定解析高度化小委員会 シンポジウムの計画」に基づき、小早川幹事長、吉田幹事から説明があった。主な質疑応答を以下に示す。

- Q. オプションの CD-R には何を入れるのか？
- A. 例えば、各 WG における話題提供の資料を入れることが考えられる。
- C. モノクロ印刷で、CD-R を上手く使ってカラーの資料を入れる形でいいと思う。
- Q. 転載許可願の件は、土木学会の事務局から言われたのか？
- A. 土木学会の事務局から、直接言われたわけではない。ただし、断層変位評価に関するシンポジウムでは転載許可願を提出したことがある。
- C. 転載と引用の定義の違いも含めて、一度土木学会の規定を調べた方が良くと思う。

- C. 2018年6月中旬に報告書原稿を入稿予定なので、それまでにWG内の原稿作成。読み合わせを行っていただきたい。
- C. WG間の調整は基本的に行わず、WG内の調整のみで良いと思う。
- ・シンポジウムの開催予定日は、2018年7月20日（金）となった。
  - ・転載許可願に関連した規定については、一度事務局に確認することになった。

以上